【区役	:所企画事業】		I	
番号	事業名	提案委員名	担当 (担当部会)	事業概要
1	引きこもり支援事業	佐々木彰治	健康福祉課第2部会	【目的】 若年層の引きこもり者が交流や仕事を通じて、社会復帰を目的とする。 【内容】 南区内の引きこもりの実態調査を実施の後、発達障害などが原因で登校拒 石や就労できず、引きこもっている若者に「交流の場」と「就労の場」を提供し、 社会との接点を持ち、仕事ができる喜びや頼りにされる喜びを得て、社会復帰 することを目指す。 とりわけ、就労の場は農業従事者の高齢化や担い手不足等で課題を抱えてい る農業者への人材派遣を考えてはどうか。
2	空き家等の庭木剪定・草刈り支援事業	佐々木彰治	区民生活課 健康福祉課 総務課 第1部会 第2部会	【目的】 地域の支え合いで自治会の困りごとを未然に防ぐことを目的とする。 【内容】 空き家や庭の管理ができなくなった一人暮らしなど「道路に枝が出ている」「 れ地にしているのでゴミが投げられる」等、区内のどの地域でも同様の困りごとがある。 所有者の責任のもと管理することが大前提であるが、「空き家の所有者と連絡が取れない」「要介護状態でかつ経済的にも厳しく、管理ができない」などを理由に荒れていくことがある。除草剤や草刈り機の替え刃、燃料等を支援することにより、地域で支え合うことが出来ないか。
3	「南区ふれあい福祉マップ」作成事業	原 五郎	健康福祉課 第2部会	【目的】 「障がいのある者にとっては、一人では自由に安心して外出しづらいことが多くあります。障がいのある者が意欲的に行動できるように、また、高齢者でも活用できるような情報をまとめた利用しやすいマップがあればと思っております。 【内容】 「障がい者の3団体【南区身体障害者福祉協会・南区手をつなぐ育成会・南区 肢体不自由児者父母の会】で立ち上げた「南区ふれあい福祉マップ作成委員を」で新潟県立大学国際地域学部 坂口淳教授から全面的なご支援をいただして、南区のいろいろな情報をまとめた福祉マップを作成しています。今作成している内容は、障がいのある人たちの利用する内容として会員向けとなっています。しかし、委員会での作業は、専門的なものではないため、さらに内容を充実したものにして、一般区民でも活動できるように内容を見直しをし、行政機関等で配布できるようなマップにしたいと願って計画しました。 ◆事業年度 平成28年度 ◆事業課 健康福祉課 ◆事業費 250万円 ◆作成数 約2,000部
4	アグリパーク都市小中学生 教育ファーム交流事業	高橋文子	産業振興課 第3部会	【目的】 南区の農業を守るために、将来の担い手を目指し、都会の子どもたちとの交流を図り、滞在型で体験できる内容とする。 【内容】 ・将来、担い手不足が予測される南区の農業です。南区内外の子どもたちで交流を図り、少しでも農業の大切さを知ってもらいたい。 ・農業を多少なりとも知っている地元の子どもたちと知らない都市部の子どもたちが交流とながら農業体験することで、お互いが農業の良さ・大切さを知ってもらう良い機会ではないかと考える。 ・子供の時の体験は将来の仕事として役立つのではないかと思う。
5	南区第九の合唱「歓喜の歌」	高橋文子	地域課 第3部会	【目的】 年末に南区民(学生から大人)が一堂に会し「歓喜の歌」を合唱する。 【内容】 南区民が一体となってできることは何かと考え、合唱が一番やりやすいのではないかと思いました。歌の指導、演奏など大変かと思いますが、一つの事を成しとげるという遠広感を味わえられ、素晴らしいことだと思います。 今までミュージカル・オペラなどの文化事業があったが、もう少し大勢の方が気軽に参加できるような文化事業として行ってもらいたい。
6	未来創造教室 旧事業名:南区生き方教育	高橋文子	教育支援センター 第2部会	継続してもらいたい。
7	中高生対象としての支援災害プロジェクト	小林加代子	総務課 第1部会	【内容】 子どもたちに集まってもらい、避難所の設営・手順・運営についての学習を行う。多くの学校が避難場所に指定されている場合が多く、その学校に通う子どもたちを対象とする。
8	高齢者1人世帯の安心向上プロジェクト	小林加代子	健康福祉課 第2部会	【内容】 一人住まいの高齢者宅に救急隊員が到着した際、かかりつけ医・飲んでいる 薬・病歴等、すぐに把握できるように冷蔵庫に内容を記入したものを置いてお く。
9	スポーツ施設の無料開放	田中容子	地域課 第3部会	【目的】 ・月に何日か体育館などを開放し、一般の人に利用してもらう。 ・ジュニアチームや中学生などの利用等は原則無料とし、選手強化や育成の充実を進める。

【自治協議会提案事業】

番号	事業名	提案委員名	担当 (担当部会)	事業概要
1	子どもたちと南区内のお寺巡り	木村 功		【目的】 区内のお寺を子どもたちに見学してもらい、地元に理解を深めてもらい、人と のふれあいを体験してもらい、地元に親しみを持ってもらいたいと思います。同 時に、お寺の歴史などを学んでもらいたい。